

未来



郵政産業ユニオン
PIWD

全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙「みらい」
NO. 4457
24年6月21日(金)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

選挙の 次誰に投票

おはようございます。

米大リーグ (MLB)・ドジャースの大谷選手は七月五日の日本の生まれだ。この日のアメリカは七月四日で、独立記念日だ。米の百年をこえる野球の歴史を二刀流で塗り替えている大谷選手こそ、同じ誕生日という偶然は別にしても、米のMLBの申し子なのか。

MLBは文字通り多くの人種が集まる世界であ

り、白人単一国家ではない。その米でこの秋大統領選挙があり、白人で差別主義のトランプが復活かといわれている。

われわれからみると、銃を持った暴徒、数千人が米議会を襲撃した国家転覆 (民主主義の破壊) 事件の張本人のトランプが大統領だという人が多数いる米こそ、おかしくないか。

そもそも二〇二一年一月六日、米連邦議会前に集まった武装集団が、「ペンス (共和党の現職副大統領) を絞首刑にせよ」と叫び、絞首台を作り始めたのは、現職大統領のトランプが、「抗議集会は激しくやれ」と煽ったからだ。



いくら銃の所持が権利である米でもこれはひどいし、そもそも軍隊はなぜ出動しなかったのか。それは国防長官 (エスパート) がトランプにより突然解任されていたからだ。

どうしても自分の敗北を認めたくないトランプは、この一月六日、連邦議会がバイデン勝利を認める場であったからこそ、これを阻止しようとしたのだ。最終的には連邦議会警察が応戦し、これを抑えたが、警察職員に殉職者も出た。

すでにこの事件の裁判では、有罪が決まり実刑を受けている者

もいるが、いまだに「あの選挙はトランプが勝った」と信じている人が多数いるというところに驚く。

このように共和党・トランプが選挙は不正だと叫ぶと、フェイクニュースに踊り、混乱が始まる。秋の選挙でも武装集団が「大義の戦い」と称し、暴徒化する可能

性はあるともいう。内乱か？とも噂があるようだ。

米にはこのように国の軍隊とは別に州兵や、自警団や右翼過激派の「ミリシア」と呼ばれる多数の武装兵が実在する。

米合衆国憲法修正二条では「人民が武器を保有し、携帯する権利を侵してはならない」と明記されているから、右翼過激派でも武装の権利が守られているのである。

トランプの才能は「より大きなウソをつくことにある」と『暴力とポピュリズムのアメリカ』(岩波新書、中野博文著) に書くが、それを保守最大のメディアであるFOXニュースなどがテレビに流し、さらにそれがネットで拡散されるのだ。まさにウソと扇動の文化だというのが、米であり、秋の大統領選である。

百年前、第一次世界大戦時の米は、対外的には



孤立主義で中立のモンロ主義であり、国際連盟にも不参加であったことなどの歴史に学べば、今回のトランプの標的は国連解体であろう。

トランプはすでに職中からも過去の国際的な条約からの脱退、国連への拠出金を止めたりしていた。「異常気象はない」という地球環境認識で、米がもうかればいい、自身がかればいい、自分第一主義である。

結果は間違いなく自国第一主義同志のぶつかりで、力による外交、軍事力、核兵器による威嚇の政治・外交が幅をきかすのだ。いま進行しているウクライナ戦争やイスラエルによるパレスチナへの戦争も、さらに厳しい結果となる可能性が高い。

MLBでは毎日、万余の観衆が野球に歓声を上げて中、米は確実に排外主義、自国第一主義



の波にのまれ、世界を激変させる。行く道はエネルギーや食料の自国独占・確保で世界経済はますます物価高騰で大混乱化する。そうした現象からいうならすでに第三次世界大戦は軍事的には始まっているのだ、と思う。

日本の国会でも有事 (戦時下の) 食糧法が通り、戦争へ備えろ、と国が煽り、都知事選挙でも小池知事が「核シエルター建設」を公約に掲げるなど戦時の様相

だ。先の戦争の教訓からいうなら、戦争は一度始まったならだれも止められない。わが国も選挙が近い。私たちは戦争を煽る候補者には絶対投票しないことを最低に、選挙をたたかいたい。



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員希望者全員に正社員化を。

めげず、均等待遇、なぐさみ差別！ ユニオンは労契法裁判に勝利すべし！

